

3.施設配置図



第1野球場



第2野球場



多目的グラウンド



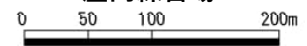
第2多目的グラウンド



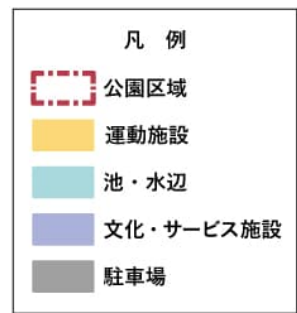
第1サッカー場



屋内練習場



クラブハウス



⑪ 西猪名公園（にしいなこうえん）

1.公園概要

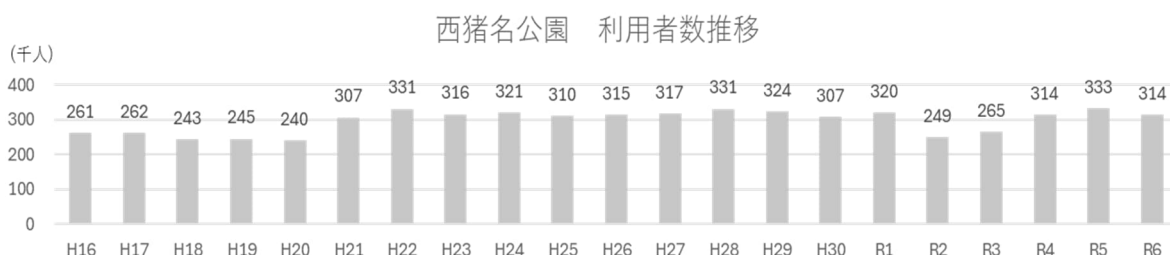
公園名	西猪名公園	
開設年月日	昭和 57（1982）年 4 月 8 日	
面積	計画面積：6.0ha 開園面積：6.0ha	
公園種別	地区公園	
主な施設	ウォーターランド、テニスコート、球技場、多目的広場、展望広場、中央広場	

西猪名公園は、JR 北伊丹駅前に位置し、伊丹空港周辺の環境整備のため、国が取得した土地を県が借り受け、県立都市公園として整備した地区公園である。

園内には、夜間照明を備えた球技場やテニスコートのほか、夏場に水遊びができるウォーターランドがあり、休養やスポーツの場として多くの人々が利用している。

2.利用者数推移

平成 21 年度以降、利用者数は 320 千人前後で推移してきた。令和 2 年度はコロナ禍の影響により一時的に利用者数が減少したが、その後は回復し、令和 5 年度には過去最大である 333 千人となった。



3.施設配置図



ウォーターランド



球技場



テニスコート



中央広場



展望広場

凡 例	
	公園区域
	運動施設
	広場・庭園
	文化・サービス施設
	駐車場

4.成り立ち

公園名	時 期															これから			
	戦後復興及び高度経済成長					都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降								R8		
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3				
	緑の回廊計画					全県全土公園化構想			兵庫県グリーンフェニックス計画				兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画		西猪名公園リノベーション計画	兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画〔2026～2035〕
西猪名公園	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;"> <p>取組み概要</p> <p>整備</p> <p>管理・運営</p> </div> <div style="width: 70%;"> <p>空港周辺の環境整備</p> <p>阪神間地域におけるレクリエーション需要に応じた施設整備</p> <p>S49:大阪国際空港周辺整備計画の策定</p> <p>S51～54:運輸省による工場跡地の取得</p> <p>S57:開園 伊丹空港周辺の環境整備事業の一環としての整備</p> <p>S57:球技場供用開始</p> <p>S60:ウォーターラフト、テニスコート供用開始</p> <p>H6:駐車場追加開園</p>    </div> <div style="width: 15%;"> <p>共創の促進</p> <p>○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施</p> <p>○ウォーターラフトのリニューアル</p> <p>○協議会のさらなる充実</p> </div> </div>																		
																			R5:管理運営協議会開始

⑫ 舞子公園（まいここうえん）

1.公園概要

公園名	舞子公園	
開設年月日	明治 33（1900）年 7 月 25 日	
面積	計画面積：6.6ha 開園面積：7.8ha	
公園種別	特殊公園(風致公園)	
主な施設	移情閣（孫文記念館）、旧木下家住宅、旧武藤山治邸、舞子海上プロムナード、舞子デッキ、根上がりの松モニュメント、明治天皇歌碑	

舞子公園は、太政官布達第 16 号に基づく地盤国有公園として明治 33 年（1900 年）に開設した県立都市公園第 1 号である。

舞子海岸は、明石海峡を望む白砂青松の景勝地として旅館、別荘が建ち並び賑わいを見せたが、戦後の都市化により往事の賑わいは失われ、公園の松林にのみ面影を残していた。しかし、明石海峡大橋の開通を機に大幅に区域を見直し、雄大な海峡風景を望む 21 世紀の兵庫・神戸を代表する景勝地として蘇り、国内外から多くの観光客が訪れるようになった。

公園には、往事の賑わいを今に伝える明治期の西洋館「旧武藤山治邸（国登録有形文化財）」、大正期の「移情閣（孫文記念館）（国指定重要文化財）」、昭和戦前期の「旧木下家住宅（国登録有形文化財）」が公園内にあり、一般公開しているほか、各館の特性を生かしたプログラムを実施している。

2.利用者数の推移

過去 20 年の利用者数は 1,500 千人から 2,000 千人程度で推移してきた。令和 2 年・3 年度はコロナ禍により、利用者数が 1,500 千人前後まで減少したが、その後回復し、令和 6 年度には過去最多の利用者数となっている。



※令和 2 年度から移情閣（孫文記念館）含む

3.施設配置図



移情閣 (孫文記念館)



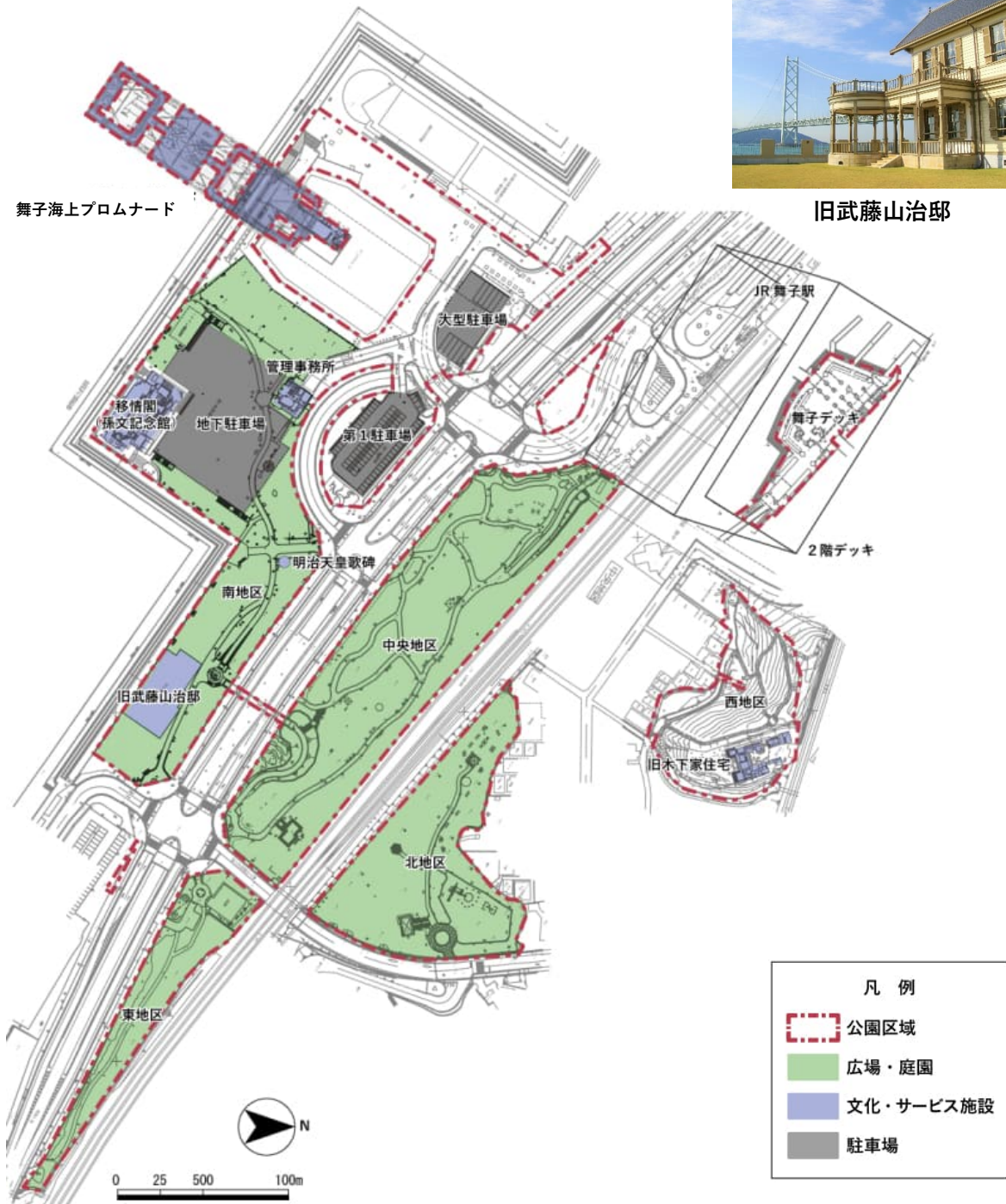
舞子海上プロムナード



旧木下家住宅



旧武藤山治邸



4.成り立ち

公園名	時 期														これから			
	明治以前から戦前			戦後復興及び高度経済成長		都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降									
	M1	T1	S10	S20	S50	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3				
				緑の回廊計画		全県全土公園化構想			兵庫県グリーンエコ計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画[2026~2035]
															舞子公園リノベーション計画			
舞子公園	<p>取組み概要</p> <p>太政官布達を契機として松林を広く一般へ公開</p> <p>明石海峡大橋開通を契機とした観光資源としての充実 歴史的建造物の集積による新たな観光ツーリズム拠点整備</p> <p>景観と文化財を活用した観光振興</p> <p>住民の参画と協働への取組み</p> <p>共創の促進</p>																	
	<p>整備</p> <p>平安時代～明治初期：松林と海峡が織りなす天下の景勝地としての賑わい</p> <p>明治中期：阪神間有数の行楽地としての賑わい</p> <p>M33：開園 ・「地盤国有公園」として誕生した初の県立都市公園 ・松林を中心として広く一般に供される</p> <p>S16：(現)旧木下邸建設</p> <p>M40：武藤山治邸建設</p> <p>T4：移情閣建設</p> <p>S11：明治天皇御座所の跡地を公園区域に編入 明治天皇歌碑の建立</p> <p>S5：松食い虫による松の枯死</p> <p>S20：進駐軍用の大型駐車場整備による松の伐採</p> <p>H5：移情閣付属棟を県指定重要有形文化財に指定</p> <p>H10：明石海峡大橋建設に伴う大改造</p> <p>H10：舞子海上ﾌﾟﾗﾏﾅｰﾄ、舞子ﾃﾞｯｸ等供用開始</p> <p>H21：旧木下家住宅の保存修理整備完了</p> <p>H22：旧武藤山治邸移築復元整備完了、グランドオープン</p> <p>H13：移情閣を国指定重要文化財に指定 旧木下邸を国登録有形文化財に登録</p> <p>S59：移情閣を孫中山記念館として公開 (H17：孫文記念館と改称)</p> <p>R6：多言語デジタルガイド設置</p>																	
	<p>管理・運営</p> <p>OH22：管理運営協議会開始</p> <p>H18：指定管理開始(H23から公募による指定管理(移情閣除く))</p>																	
	<p>○文化財保全・利活用</p> <p>○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施</p> <p>○舞子海上ﾌﾟﾗﾏﾅｰﾄの改修</p> <p>○協議会のさらなる充実</p>																	

⑬ 灘山緑地（なだやまりよくち）

1.公園概要

公園名	灘山緑地	
開設年月日	平成 12（2000）年 3 月 18 日	
面積	計画面積：11.3ha 開園面積：11.3ha	
公園種別	都市緑地	
主な施設	プロムナードガーデン(庭園)、 展望デッキ	

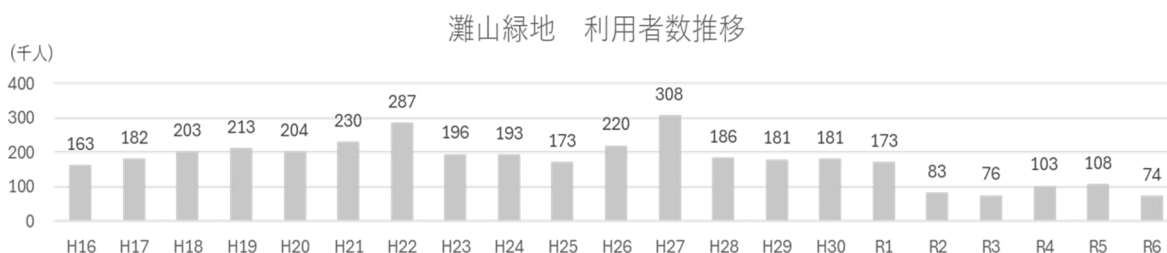
現在の淡路夢舞台、国営明石海峡公園の背面となる淡路島北端部の灘山は、関西国際空港の整備にあたり約 1 億 m³もの土砂が採取され、跡地は剥き出しの岩盤法面であった。

灘山緑地は、最新の緑化技術により淡路島の自生種を中心とする 10 種類の苗木の植栽により、自然植生を回復した緑地である。

現在では緑豊かな自然林に成長し、野鳥、野ウサギ、昆虫など多くの生物が棲息するとともに、夢舞台全体の景観を形成している。本緑地の中腹には全長 380m に渡る回廊風のプロムナードガーデンがあり、国営明石海峡公園、淡路夢舞台、大阪湾を一望できるビューポイントとなっている。

2.利用者数の推移

平成 22 年度の「淡路花博 2010 花みどりフェア」、平成 27 年度の「淡路花博 2015 花みどりフェア」の開催時は 300 千人前後の利用者数となったが、R2 年度のコロナ禍以降は減少し、最近は 100 千人前後となっている。



3.施設配置図



プロムナードガーデン

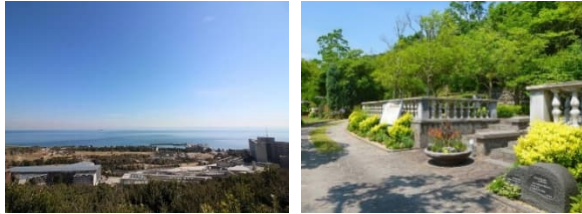


展望デッキ



4.成り立ち

公園名	時 期														これから			
	戦後復興及び高度経済成長					都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降							R8		
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28			R3	
	緑の回廊計画					全県全土公園化構想			兵庫県グリーンフェニックス計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画[2026~2035]
															灘山緑地リノベーション計画			
灘山緑地	取組み概要														国際花博開催に併せた修景緑化の先駆的モデルとしての緑化	共創の促進		
	整備														○森林の適切な管理			
	管理・運営														○管理運営協議会設置			



⑭ 尼崎の森中央緑地（あまがさきのもりちゅうおうりょくち）

1.公園概要

公園名	尼崎の森中央緑地	
開設年月日	平成 18（2006）年 5 月 31 日	
面積	計画面積：18.9ha 開園面積：18.9ha	
公園種別	都市緑地	
主な施設	尼崎スポーツの森（屋内プール、屋外プール（夏季）、アイススケート（冬季）、フィットネス施設、多目的ドーム、フットサル、森のこども広場（室内遊具））、芝生広場、パークセンター、育苗施設、作業棟、茅葺き民家	

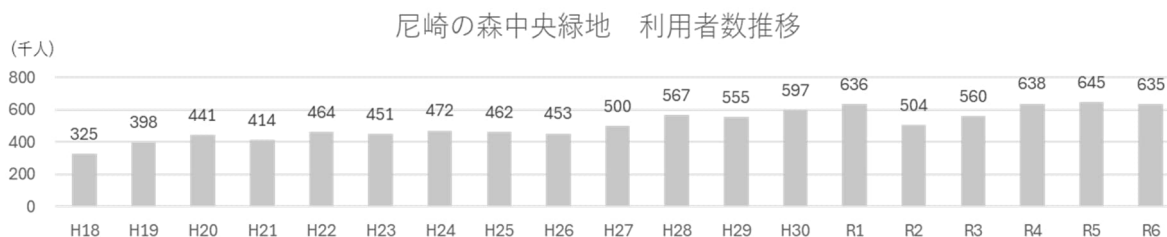
尼崎の森中央緑地は、森と水と人が共生する環境創造のまちづくりを目指し平成 14 年に策定した「尼崎 21 世紀の森構想」の先導中核拠点として、工場跡地に 100 年の森を創造するプロジェクトである。

森づくりは、生物多様性の 3 原則である遺伝子、種、生態の多様性をもとに、尼崎に注ぐ河川流域の種子から、参画と協働により園内で苗を育て、300 種 12 万本を植樹する壮大な計画である。

また、公園の一画には、水泳、スケート、フットサル等の複合運動施設である尼崎スポーツの森を開設している。平成 26 年に公園の森づくりの活動拠点となるパークセンター、平成 27 年に県立都市公園で最大規模の大芝生広場が完成し、平成 30 年には茅葺き民家の移設を行い、小学生を対象とした環境学習、企業等による植樹活動、イベント開催など多様な利用が行われている。

2.利用者数の推移

開園以来、利用者数は増加傾向で推移してきた。コロナ禍であった令和 2 年度には利用者数が減少したものの、令和 3 年度以降は回復し、最近では 640 千人程度で推移している。



3.施設配置図



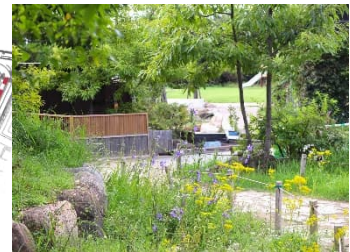
フットサルパーク



屋外プール（アマラゴ）



屋内プール（50m プール）



みなの花野



大芝生広場



はじまりの森

4.成り立ち

		時 期											これから R8								
		戦後復興及び高度経済成長			都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降													
公園名		S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13		H18	H23	H28	R3				
		緑の回廊計画			→ 全県全土公園化構想			→ 兵庫県グリーンフェイクス計画			→ 兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			→ 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画			→ 兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画〔2026～2035〕				
		→ 尼崎の森中央緑地リノベーション計画																			
取組み概要		震災の影響や産業構造の変化を踏まえた臨海地域の再生に向けた取組					民間活力の導入によるスポーツ需要への対応					県民協働による、地域環境に根差した公園づくり									
		公園管理運営と森構想推進に対する参画と協働・共創の促進																			
整備	昭和期：工場建設（鉄鋼等重工業）、阪神工業地帯の中核的存在 昭和末期～：工場閉鎖・転出	H14：「尼崎 21 世紀の森構想」策定 H16：「尼崎の森中央緑地基本計画」策定 H18：「尼崎の森中央緑地植栽計画」策定 H18：のじぎく国体の開（競泳、シカ） H18 開園：「尼崎 21 世紀の森構想」に基づく森づくりのリーディングプロジェクトとして整備 H18：健康増進施設（スポーツの森）、SPC（あまがさき健康の森株式会社）による運営開始					H27：「尼崎の森中央緑地整備計画」策定 H30：第2工区の全面供用開始					R6：グラウンドゴルフ閉鎖 R7：多目的ドーム整備 R6：多言語デジタルガイド設置									
																					
管理・運営		H14：管理運営協議会（森づくり協議会）開始 H21：参画と協働による森づくり H24：森の会議の参加をきっかけとした参画と協働による管理・運営 H26：尼崎市との協働による魅力アップ事業（環境学習等） H18：オリーブ基金を活用した森づくり					R5：自然共生サイト認定					R5：自然共生サイト認定									
												[第2工区] H27：指定管理開始（H30 から公募による指定管理）					[第1工区（健康増進施設）] R4：PFI 事業終了 R5：指定管理へ移行				
		○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施																			
		○森林の適切な管理																			
		○協議会のさらなる充実																			
		○環境学習の促進																			

⑮ あわじ石の寝屋緑地（あわじいしのねやりよくち）

1.公園概要

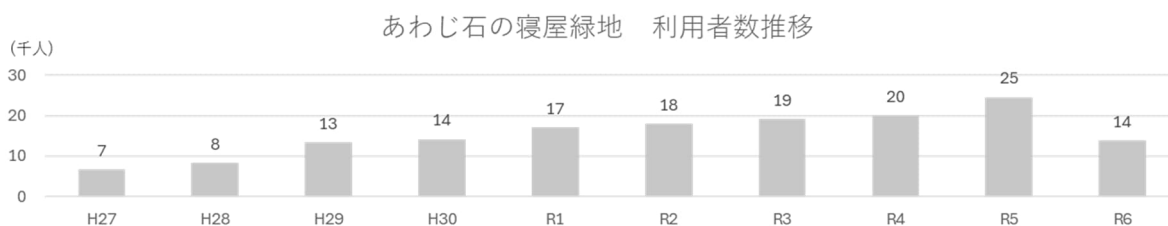
公園名	あわじ石の寝屋緑地	
開設年月日	平成 27（2015）年 4 月 1 日	
面積	計画面積：75.4h 開園面積：37.5ha	
公園種別	都市緑地	
主な施設	園路、森の広場、展望台、いきものたんぼ、トイレ、四阿、水飲み場、石の寝屋古墳群	

明石海峡を望む淡路島北側の丘陵地にあり、明石海峡大橋周辺の緑豊かな美しい景観の保全と、絶滅危惧種の猛禽類サシバ、ハチクマの渡りの観察をはじめ、貴重種が棲息する自然環境の保全を目的とした都市緑地である。

園内には自然を生かした周回園路、明石海峡大橋を眼下に望む展望台があるほか、「日本書紀」の海人（あま）の男狭磯（おさし）伝説を今に伝える石の寝屋古墳群がある。

2.利用者数の推移

平成 27 年の開園以来、利用者数は増加し、令和 5 年度には過去最大の 25 千人となったが、令和 6 年度は 14 千人に減少している。



3.施設配置図



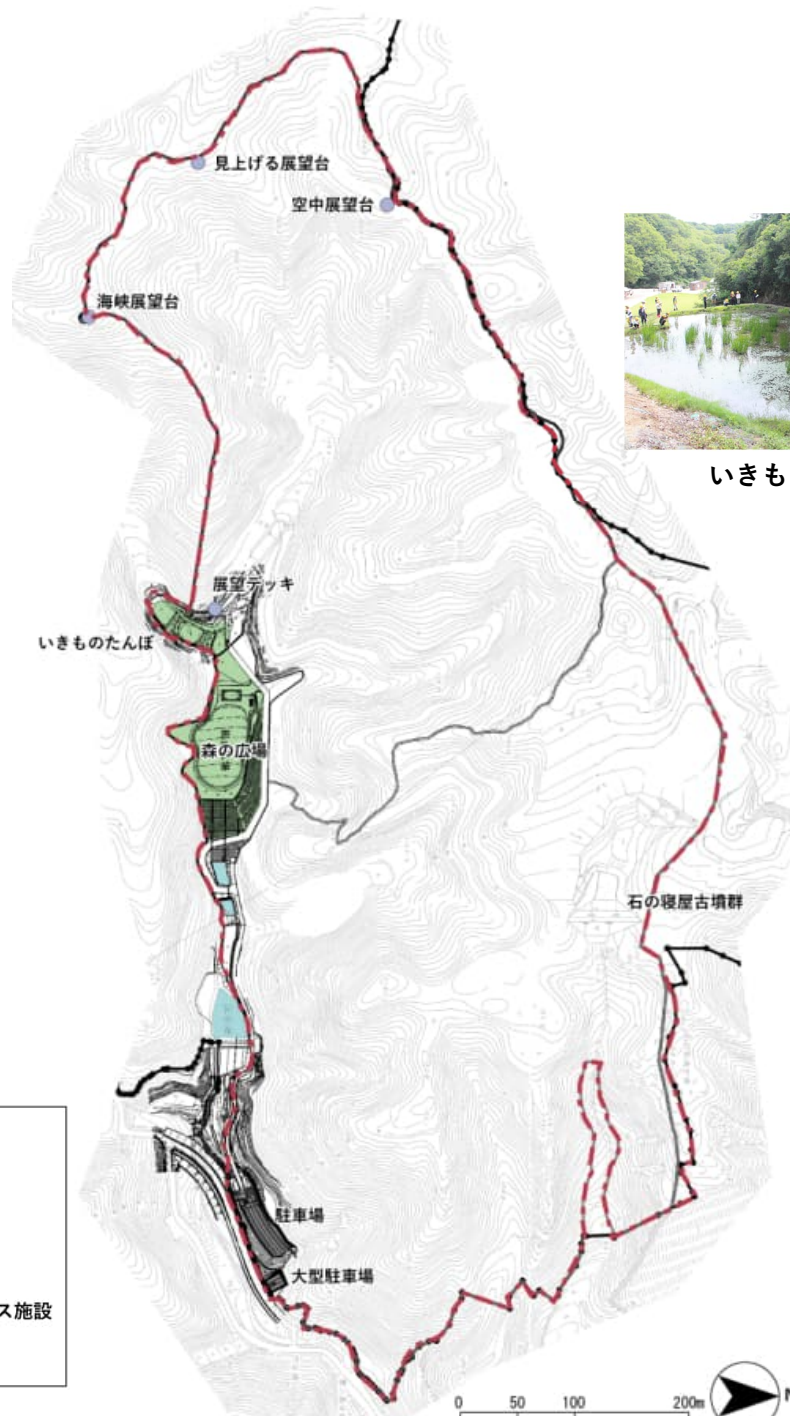
森の広場



見上げる展望台

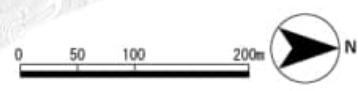


海峡展望台



いきものたんぼ

凡例	
	公園区域
	広場・庭園
	池・水辺
	文化・サービス施設
	駐車場



4.成り立ち

公園名	時 期													これから			
	戦後復興及び高度経済成長					都市拡大とバブル景気			阪神淡路大震災以降						R8		
	S20	S30	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H8	H13	H18	H23	H28	R3		
	緑の回廊計画					全県全土公園化構想			兵庫県グリーンフェニックス計画			兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針			兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画		兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画〔2026～2035〕
														あわじ石の寝屋緑地リノベーション計画			
あわじ石の寝屋緑地	取組み概要														自然環境の保全 (明石海峡大橋及び淡路縦貫道の開通に伴う開発抑制)		
	整備														子供たちの自然環境学習の場の整備 住民の参画と協働への取組み 共創の促進		
	管理・運営														自然共生サイト認定 協議会のさらなる充実		
														○森林・竹林の適切な管理 ○環境学習の取組拡大 ○長寿命化対策による老朽化施設の改修・更新を順次実施			
														○協議会のさらなる充実			
														○指定管理開始(R1から公募による指定管理)			
														H6:石の寝屋地区基本構想の策定 H14:基本計画策定 H20:事業再評価、基本設計の見直し H27:開園			
														OS62:明石海峡大橋の正面の自然の乱発防止ため用地取得 H21~22:あわじ石の寝屋緑地懇話会開催 R6:自然共生サイト認定 H24:管理運営協議会設置(淡路島公園と合同) H24:「あわじ石の寝屋緑地管理運営計画」策定			
														   			